

各障がいの理解と関わり方について1 ～視覚障がい～

北海道立特別支援教育センター

1

見る仕組みについて

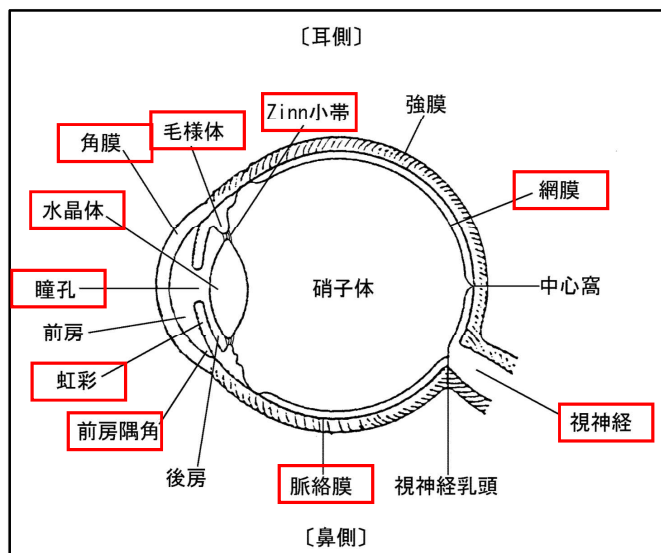
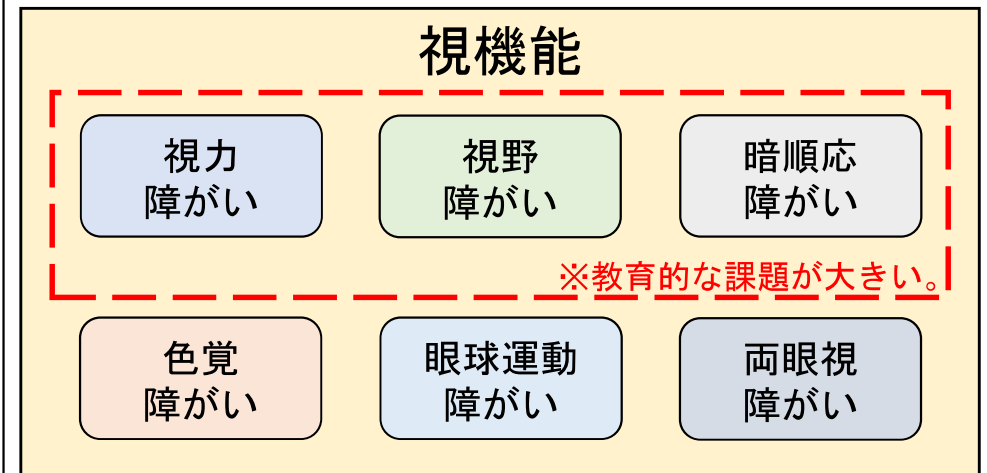


図 眼球の水平断面図

視覚障がいとは

視機能の永続的低下の総称を意味する。



「視覚障害教育に携わる方のために」 香川邦夫 編著²

視覚障がいの主要な原因疾患①

眼疾患	状態	対応
小眼球・虹彩欠損	胎生期の眼球形成の異常、小眼球では遠視や視野異常が生じる。虹彩欠損では羞明と視野上方の欠損が生じる。	屈折異常の矯正、見やすい視野位置の確認、網膜剥離の予防、遮光眼鏡の装用を検討する。
未熟児網膜症	未熟児に生後まもなく発症の可能性がある網膜の異常。視力・視野は正常から全盲まで個人差がある。	屈折異常の矯正、網膜剥離の予防を検討する。
視中枢障がい	視中枢の損傷が原因で視覚障がいが生じた状態。視力や視野は個人差がある。光凝視や指を眼前でひらひらさせる常同行動が認められることがある。	運動発達・知的発達に伴い視反応は向上することがあり、様々な側面からのアプローチを着実に、継続して行う。
角膜白斑	角膜が白く濁った状態。光が乱反射し、コントラストの低下と羞明が生じる。	照明の工夫や文字などの白黒反転を検討する。
緑内障・牛（水）眼	眼圧が高くなり、視神経の萎縮が生じる。視野異常のほか、先天性では屈折異常や角膜白斑が生じることがある。	眼球破裂の危険性があり、アイガードの装着を検討する。

視覚障がい の 主要な原因疾患②

眼疾患	状態	対応
白内障	水晶体が混濁した状態。目の中で光が乱反射するため、コントラストの低下や羞明が生じる。	照明の工夫や白黒反転を考える。先天白内障の術後無水晶体眼では、眼鏡の常時装用などにより視機能の発達を促す。
視神経萎縮	視神経組織が変性あるいは機能不全を起こした状態。視野欠損が生じる。視神経萎縮の程度には個人差がある。	視力、視野の状態は個人差が大きいことから、個々の見え方の把握が大切。
網膜芽細胞腫	乳幼児の網膜に発生する悪性腫瘍。視力予後は腫瘍の大きさや位置で異なる。生命予後は比較的良好で、5年生存率は90%以上。	二次腫瘍発生の可能性があり、生涯にわたる経過観察が必要。
網膜色素変性症	網膜杆体の機能低下が生じた状態。多くは進行性。暗いところが見えにくい夜盲と周辺が見えない視野狭窄が生じ、歩くことや球技が難しくなる。	進行性の疾患であることから、心理的なケアを行うとともに、適切な補助具の活用を勧める。
糖尿病網膜症	糖尿病の合併症としての、網膜の異常。網膜症の程度によって見え方は様々だが、視力の低下や視野の欠損が生じる。	視力の低下や視野の欠損が急速に進むことがあるため、心理的ケアが必要。
黄斑変性	遺伝性に加齢性があり、いずれも網膜黄斑部の視細胞の変性。視力低下と中心暗点、色覚異常が生じ、読書が難しくなる。	羞明を訴える場合は、遮光眼鏡を装着する。進行性の黄斑変性の場合、心理的ケアが必要。

「視覚障害教育Q & A」全国盲学校長会 編著 5

ミニ演習1

幼児児童生徒の視覚の状況を把握していますか。

チェック	項目
	担当している幼児児童生徒の眼疾患を把握している。
	担当している幼児児童生徒の視力の状況を把握している。
	担当している幼児児童生徒の見え方や配慮事項を説明することができる。

ポイント

眼疾患や視力の状況を知ることは、一人一人に応じた支援の方法を考える上で重要です。

6

(1) 視力障がい

矯正視力

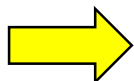
眼鏡やコンタクトレンズを着けた視力
※視覚障がい教育において「視力」と言う場合は、「両眼の矯正視力」を指す。



裸眼視力

眼鏡やコンタクトレンズを着けない視力

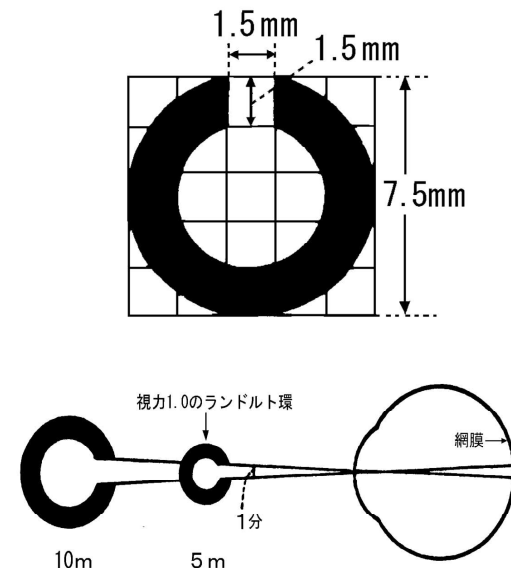
視力0.3未満になると、小・中学校の教室の一番前の席から黒板に書いた文字が見えない。



教育的な「視覚障がい児」

「視覚障害教育に携わる方のために」香川邦夫 編著 7

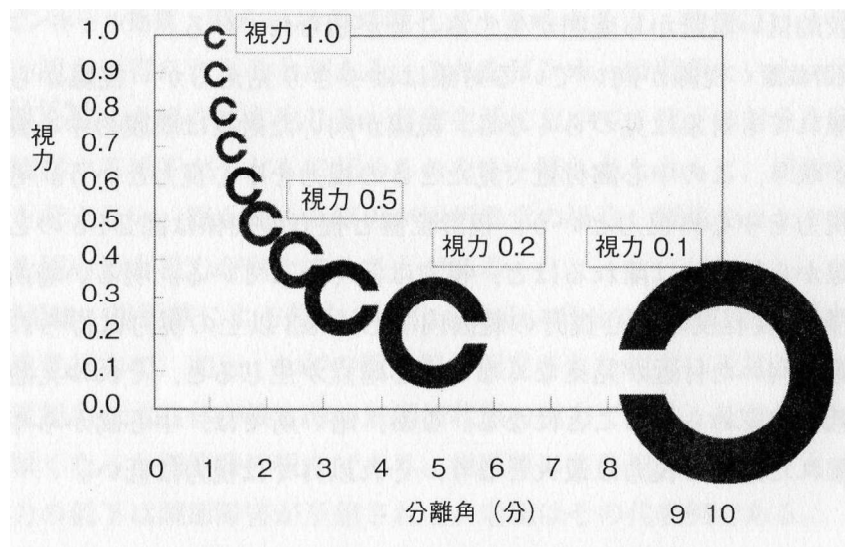
視力とは



0.1の視標が見える距離	視力
5.0m	0.1
4.5m	0.09
4.0m	0.08
3.5m	0.07
3.0m	0.06
2.5m	0.05
2.0m	0.04
1.5m	0.03
1.0m	0.02
0.5m	0.01

「障害のある子供の教育支援の手引」文部科学省初等中等教育局特別支援教育課（令和3年） 8

見分けられる分離角と視力の関係



「小・中学校における視力の弱い子どもの学習支援」香川邦生・千田耕基 編

9

網膜各部における錐体と杆体の分布と視力の関係

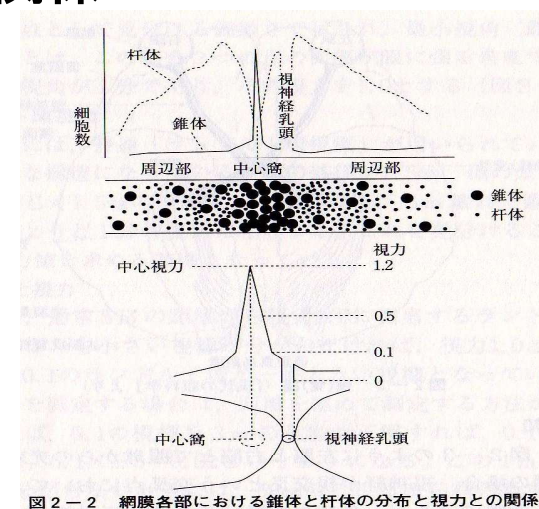


図2-2 網膜各部における錐体と杆体の分布と視力との関係

「視覚障害教育に携わる方のために」香川邦夫 編著

10

(2) 視野障がい

求心性視野狭窄

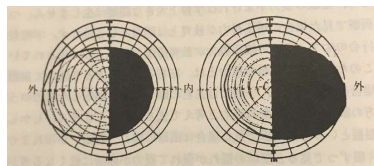
網膜色素変性症等により網膜の周辺部分から視野が狭くなる状態。夜盲を伴う。

暗点

黄斑部変性等により中心窩付近の網膜に異常が生じ、中心部分が見えなくなる状態。視力が下がる。

半盲

右半分または左半分のよう、ほぼ全体の半分が見えなくなった状態。



「視覚障害教育に携わる方のために」香川邦夫 編著

11

視野の障がい

求心性視野狭窄

- 小さな文字を読むことができる。
- 遠くにいる人の表情が分かる。
- ▲横から近付いてくるものに気付かない。
- ▲段差に気付かない。
- ▲屋外を一人で歩けない。
- ▲縦横無尽に人が行き交う場所で歩けない。
- ▲弾むボールを目で追うことができない。

中心暗点

- 周囲の状況が比較的分かる。
- 移動にさほど支障がない。
- ▲小さな文字は読めない。
- ▲ものを詳しく見るのが難しい。

「障害のある子供の教育支援の手引」文部科学省初等中等教育局特別支援教育課（令和3年）

12

(3) 暗順応障がい

暗順応障がい	明順応障がい
・ うす暗い光の中でも次第に目が慣れる現象のこと。 ▲目が慣れるのに著しく時間が掛かる。 ▲暗いところではほとんど見えず、夜道などを歩くのに困難を感じる。（夜盲） ▲少しでも暗くなったり、暗いところに入ったりした場合に行動が制限される。 ※視野狭窄が強い場合、夜盲と同じような行動が見られることが多くある。	・ 明るいところで目が慣れにくく見えにくい。（昼盲） ・ 通常の光でもまぶしさを強く感じる（羞明） ▲まぶしくて見えにくい。 ▲痛みを感じたり目が開けられなくなったりすることもある。

各障がいの理解と関わり方について1 ～視覚障がい～

北海道立特別支援教育センター